

できることから始めよう、みんなで進める 景観まちづくり

2015.11.28 高田昇(立命館大学客員教授・COM計画研究所代表)

1. なぜ今、景観まちづくりなのか

「景観」というと、何か漠然として、捉えどころなく、また目的や効果も分かりにくいかもしれません。でも、最近では多くの事例や研究が進んで、「説得力」ある取組みとして認められつつあります。

- (1)地域の生活の場としての快適さ、住み心地を高める → わがまち意識、愛着心を育む
- (2)地域の個性(アイデンティティ)、魅力(アメニティ)を高める → 交流・観光を促す
- (3)地域の価値(メリット)を高める → 良質な経済活動、投資を呼び込む
- (4)人びとの感性、創造力を醸成する → 高感度でセンスよいモノづくり、文化の高揚へ

2. 景観まちづくりの効用(例)

- (1)定住人口の増加
(神戸トアロード 2000年頃約500人→2010年頃約2,500人)
- (2)観光客数の増加
(伊勢 1992年35万人→2002年300万人、由布院 1970年100万人→1992年400万人)
- (3)地価、住宅価格の上昇
(交野市での実証7%、東京大学の研究報告10%)
- (4)「地域ブランド」「都市のブランディング」
(ミラノコレクションの台頭、京都・金沢の集客力アップ)

3. 景観まちづくりの応用、事例

景観まちづくりは、それぞれの地域、まちの特性に応じてやり方や手法が違ってきます。まずは「地域特性」をしっかり捉え、その良さをどう伸ばすかという発想での取組みが効果的です。わかりやすい例は・・・

- (1)歴史あるまちなみ → 富田林の寺内町、枚方の街道町、岸和田の城下町など
- (2)住宅地のまちなみ → 交野の郊外住宅地、神戸・長田の震災復興など
- (3)商店街のまちなみ → 神戸・トアロード・新開地、福知山・広小路など
- (4)古墳を生かす → 神戸市垂水区(五色塚古墳)、埼玉・行田市(さきたま古墳)、栗東市(椿山古墳)、韓国慶州(古墳公園・大陵苑)

4. 景観まちづくりの進め方

景観を形成する大部分が市民・民間企業などの土地・建物であることから、「お役所任せ」ではなく、「市民主導」で進めないと成果は期待できません。それも「個人任せ」ではなく、みんな学び、しっかりした「仕組み」「まちづくり組織」をつくっていくことが秘訣です。例えば・・・

(1)市民の「共同学習」「わがまち診断」

(行政、専門家の支援とともに街の現状チェック、歴史の掘起しなど)

(2)市民がすぐにも出来る「見本」づくり(緑、自販機等の色の調和、塀や屋外機の修景など)

(3)市民による「景観まちづくり協議会」活動(「景観法」による支援あり)

(4)「街づくり協定」「景観ガイドライン」などの作成、締結、運用

(5)公民協働による「景観まちづくり活動」の実践

(滋賀・栗東市や福井・あわら市では花と緑、歴史、活性化などのテーマ別部会活動)

5. 「まち歩き」することの意義

日頃は何気なく見過ごす風景であるかもしれませんが、藤井寺市として、そして全国・世界的にも景観まちづくり上、重要なところではあります。

古墳、街道、神社仏閣、遺跡と多くの貴重な歴史・文化資源がありますが、文化遺産を生かし、価値あるものとしていくためには、点、線ではなく、面として「周辺」の景観がそれらを引き立て、一体の環境づくりが不可欠となります。

(1)古市古墳群景観形成地区 (「景観法」「市条例」による地区指定)

(2)東高野街道(道明寺周辺)地区 (「歴史街道周辺地区」としてして候補地区)

(3)土師の里駅周辺地区 (「拠点地区」として指定候補地区)

(4)史跡国府遺跡周辺地区 (「遺跡周辺地区」として指定候補地区)

6. 「まち歩き」の景観チェックポイント

景観の「プラス要素」「マイナス要素」を具体的にチェックし、それを今後の景観まちづくりを検討、計画する基礎データとすることになります。主なチェックポイントは次のようなところでしょう。

(1)公共的なオープンスペース

道路、鉄道、駅前、広場、緑地、水面(堀、池、水路など)など

(2)建物・施設

住宅、店舗、寺、神社、公共施設、駅舎など

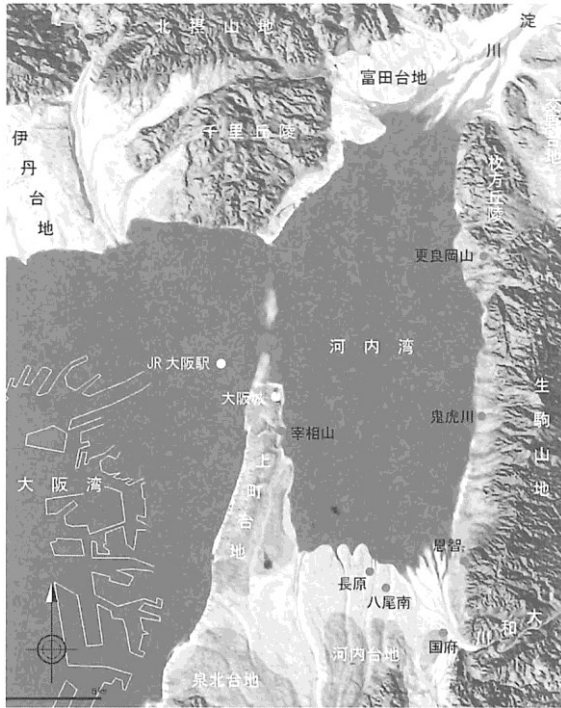
(3)工作物

塀、門、ネットフェンス、広告、看板、街灯、案内板など

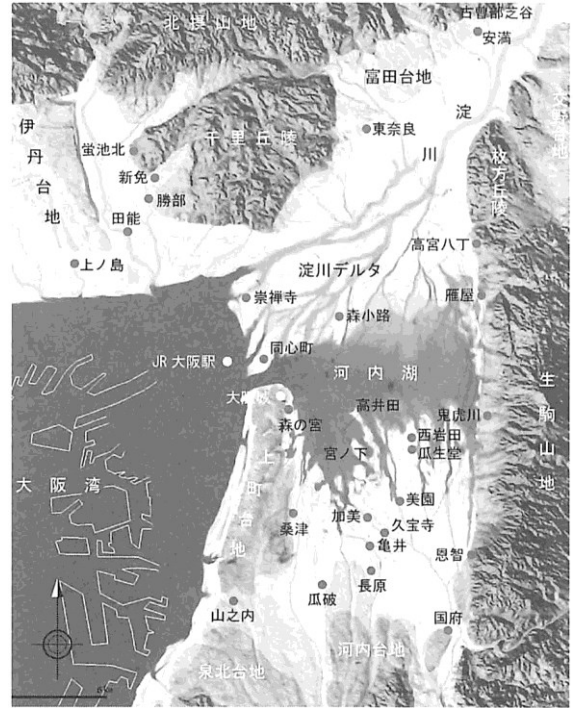
(4)その他

電柱・電線類、自動販売機、空地、駐車場など

■ 図1

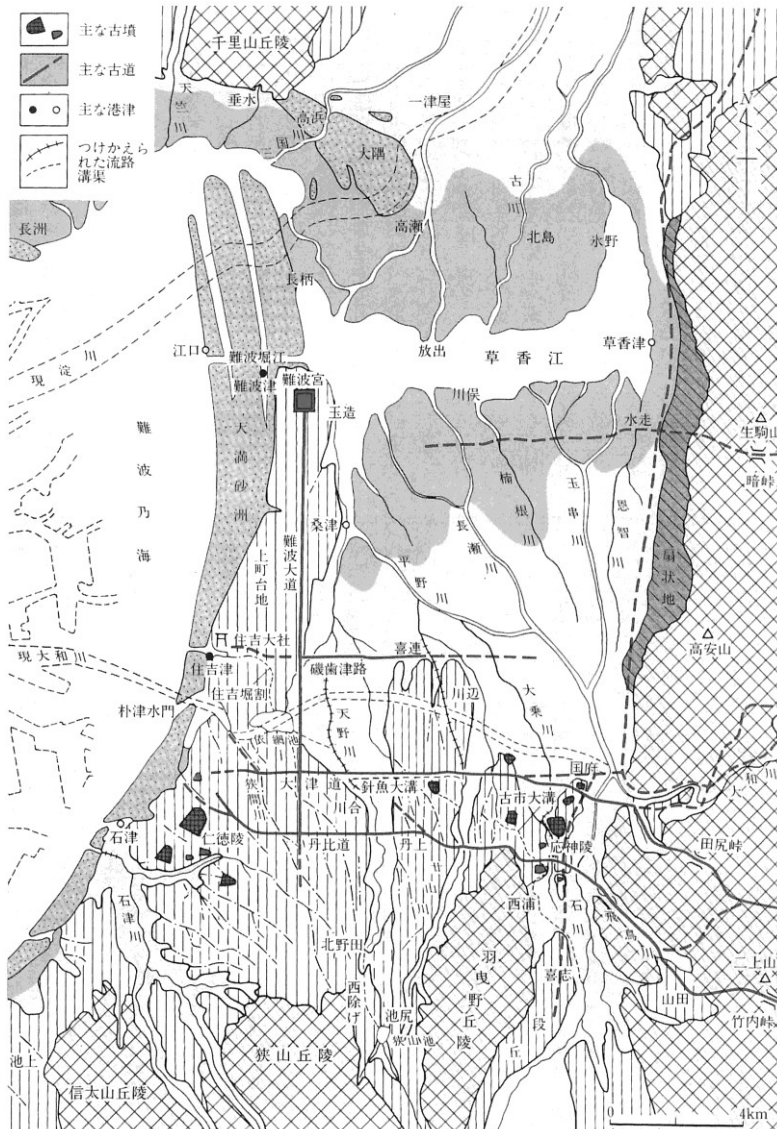


河内湾時代の古地理図(約 5500 年前)



河内湖時代の古地理図(約 2100 年前)

■ 図2



古地理図と推定古道
(日下雅義『古代景観の復原』
中央公論社)

仲津山古墳(仲津媛陵)



市野山古墳(允恭陵)



津堂城山古墳



花しょうぶ園

鍋塚古墳



津堂草花園

古室山古墳

